

産業廃棄物処理計画書	
2020年 5月 18日	
三重県知事 殿	
提出者	
住所	三重県四日市市相生町1-1
氏名	大宗建設株式会社 代表取締役社長 佐野 行廣 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号	059-353-6661
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量 その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大宗建設株式会社
事業場の所在地	四日市市相生町1-1
計画期間	2021年4月1日から2022年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06 建設業/ 総合工事業
② 事業の規模	46億
③ 従業員数	34
④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程	産業廃棄物発生→委託処理施設へ運搬→分別→種類ごとに処理→再 利用・最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

『廃棄物責任者』・・・ ①廃棄物処理方針の策定 ②廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認③事業所の環境マニュアルの承認
『廃棄物監理者』・・・ ①廃棄物処理計画の作成 ②廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ③事業所内の廃棄物発生量の把握管理④処理業者・再生業者の調査、近衝、選定及び査察 ⑤監督官庁への各種報告⑥各委託契約の締結及び契約事項の管理⑦社員・関連会社に対する教育・啓発⑧その他関係する事項
『産廃物管理担当者』・・・ ①担当部署の廃棄物処理、発生抑制の実施 ②担当部署の廃棄物発生状況の把握と改善策の検討 ③産業廃棄物マニフェストの交付・管理 ④担当部署の廃棄物発生状況、発生量の調査収集 ⑤部下及び担当の関連会社に対する教育・啓発

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【 前年度実績 】	
産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
排出量	
①現状	(これまでに実施した取組) 我社のISO14001の基準に沿って実施。 ・目標値:22円/10,000円(発生材処分費用/工事金額)
【 目標 】	
産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
排出量	
②計画	(今後実施する予定の取組) ・引き続きISO14001の基準を適用し、目標とする。 ・環境側面に関する手順を確認、実施し維持していく。尚、環境側面に関係する業者に対して「環境に関する指導」と「協力」を求めている。 ・材料の工場加工化(フレカット・プレハブ)により廃材の発生を削減する。 ・搬入資器材の梱包材料を簡素化する。 ・再生可能な資材を分別集積し、混合廃棄物排出量を削減する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各事業所で産業廃棄物を鉄くず、廃石膏ボード、木くず、ダンボール等に分別することで速やかにリサイクル処理を行うことにより、環境負荷を低減できると考えて、適正に処理をしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生した産業廃棄物をできる限りリサイクルすることにより、処理対象となる産業廃棄物の排出量を減らすことを目標とする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度実績】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(これまでに実施した取組)		
産業廃棄物委託契約書を収集及び運搬業者と結んで発生・搬出状況の管理を確認している。 直接委託処理において、収集運搬・中間処理・最終処分等への適合状況、管理体制、処理施設の維持管理基準への適合状況を確認している。		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(今後実施する予定の取組)	
	当事業所が発生抑制・リサイクルできず、やむを得ず排出される産業廃棄物について直接委託処理を行い、情報提供・分別排出等により処理業者の適正処理を支援するとともに最終処分状況まで確認する。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7 欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います

 記入不要です

項目		廃棄物の種類 現状/計画	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	合計量 (t)	
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	13号廃棄物	建設混合廃棄物		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																						0	
		今年度目標		350				250		50				2000		100	200	50						50	3050
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																							0
		今年度目標																							0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																						0	
		今年度目標		350				250		50				2000		100	200	50						50	3050
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																							0
		今年度目標																							0
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																							0
		今年度目標		350				250		50				2000		100	200	50						50	3050
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																							0
		今年度目標																							0
⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																							0	
	今年度目標																							0	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。